

構成資産を知る(その一)「西三川砂金山」

新潟県と佐渡市が3月に文化庁に提出した「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」の推薦書原案改訂版では、課題への対応も踏まえ、構成資産を必要最小限の「西三川砂金山」、「鶴子銀山」、「相川金銀山」の3つの鉱山に厳選しました。今回は構成資産の一つの「西三川砂金山」を紹介します。

西三川砂金山は、平安時代の「今昔物語集」にも登場したと推定される佐渡最古の砂金山で、「能登国の製鉄集団の長が、千両ほどの金を持ち帰り、それ以来能登国では賃金がほしければ佐渡へ掘りに行けば良い」とい伝えられるようになった」という記述があります。

西三川砂金山を代表する「虎丸山」は、西三川砂金山最大の採掘場で、山を掘り崩して砂金を採る「大流し」と呼ばれる方法がとられました。その砂金を採るために集落周辺の各地に堤や水路が築かれ、掘り崩された山の斜面は現在も植物が生えず、赤色の山肌が採掘当時の様子を物語っています。

その他に、「五社屋山」「笹川集落」「大山祇神社」「金子勘三郎家」などの重要な構成要素も多く存在します。



虎丸山の当時の様子
「西三川砂金山稼場所絵図」より(佐渡市蔵)



虎丸山を望む風景

産業観光部世界遺産推進課
☎63-5136

～地域の魅力をサポートします～

われら地域おこし協力隊

地域の元気は若者から!
赤泊で若者自主企画イベント開催!

「若者が主役となる地域づくり」を考え、赤泊で活動を始めて1年が経ちました。

昨年は若者のコミュニティ作りをしようと、バーベキューやクリスマス会など仲間づくりの交流イベントを実施しました。

今年はステップアップし、地域の20代や30代が中心となってイベントを自主企画・運営する「赤泊にぎわい実行委員会」を設立しました。

自転車・釣り・コスプレ撮影の3つのイベントで、赤泊に島内外から人を呼び込むべく準備を進めています。初めてのイベント企画にみんな試行錯誤の連続ですが、「3人寄れば文殊の知恵」で頑張っています

楽しみややりがい、仲間を自分で「作る」ことができる、そんな元気な人であふれる佐渡にしていけたらいいと思います。

イベントでお会いしましょう!

赤泊地区担当
渋谷 春菜



昨年のバーベキューでは22人も集まりました!

産業観光部地域振興課
地域振興係 ☎63-4152